ミニコミ版

# Cnetひたち

Vol.8

2008年11月1日

発　行：コミュニティNETひたち
発行人：内田　芳勲
発　行：宇梶　秀夫

会員数　125名（10月20日現在）

## ご挨拶

### -------設立七年目を迎えて-------

代表理事　内田　芳勲

日頃の会員の皆様のご支援、ご協力に厚く御礼を申し上げます。当会は平成１３年１２月約３０名の有志が集まって発足しました。丁度定年を迎え地域で何かと思っていたので、当ＮＰＯ法人の立上げに参画しました。紆余曲折もありましたが、近隣の行政、企業、各種団体のご支援も頂きお蔭様で設立７年目を迎えました。設立時は文字通りゼロからのスタート、会員のみなさんの善意だけが頼り、いわば素手同然で力を合わせてやって来ました。無我夢中でしたが省みてこれでよかったのだと思います。最初から守るべき資本や権威があったら、法人組織の運営で管理、統制などが色濃くなっていたでしょう。事務所では声を上げて争うこともなく、年中、春風が吹いているようで笑顔が絶えません。折々の交流会も含めて「群れて楽しむ」溜まり場となりました。加えて会員のみなさん一人一人が生き甲斐を追及し、シニアの経験やノウハウを活かしながら、町作り、地域振興で社会形成に参画できるのは何と喜ばしいことでしょうか。みなさんにとってのＣNETは何でしょうか。本誌第８号ではその思いを出来るだけ多くの方に語って貰えるよう編集者にお願いしました。今から紙面が楽しみです。これからもお互い心身を健やかにして継続して行けるよう念じつつ発行に当ってのご挨拶と致します。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆**理事・監事**☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## パソコン水彩画の紹介

千葉　淳

パソコンの受講目的には、時代に取り残される、文書作成が必要、年賀状作成、ボケ防止等多様である。パソコンは、常に使っていないと操作方法を忘れる事が多い。パソコンを使うことだけが生活の全てではないが、趣味に活用して脳を活性化する事も一つの方法と思う。趣味の一つとして、パソコン水彩画をお勧めしたい。パソコン水彩画の利点は、筆や絵の具などが不要でパソコンに向かえばすぐ始められるし、画像は保存して使い回しや手直しが出来る。また、何枚でも印刷できる。パソコン水彩画WGを作って絵手紙を一人暮らしの高齢者宅等に季節の便りとして届けたいと思っている。

## 事務局として６年

高橋　正

事務局担当になった６年前は会員も少なく、赤字で大変な状態でした。第１回総会で代表理事に選任された内田さんは新事業や種々の改革等で収入及び会員も増加し、毎年黒字決算継続中です。当会の感想は（１）多くの方と楽しく交流ができた。（２）パソコン教室、学校支援、パソコン講師等で生きがいのある仕事ができた。（３）優秀な会員が多く種々の問題が解決できた。これは内田代表が掲げた「集雅凝情、敬業楽群」そのものだと思います。６月に事務局員が稲毛ますみさんから小杉悦子さんにかわりました。稲毛さん、長い間有難うございました。

## パソコン講習活動に参加して

宮垣　久典

退職後当会に入会し、幸い以前から関心を持っていたパソコン講習活動に関わることになってから今年で７年になります。思い切ってこの活動に参加したお陰で、会員や地域の人々との、これまで経験したことのない、地位やしがらみに囚われない交流の機会が得られ、今日まで楽しく充実した日々を送ることが出来ました。今後は、皆さんのお知恵とお力を拝借して、気軽に参加できるプチ講演会や共通の課題を持ち寄って勉強するプチ講習会等の新しい企画も取り入れ、より充実した活動にして行きたいと考えています。

## 会の活性化

佐藤　昭治

この会での活動も、はや６年目に入りました。振り返ってみるとこの間色々な難局を経験しました。ここ２年くらいは会の活動も安定し、何となく過してきた感じが有ります。このままでは沈滞するので、ここで新たに自分自身の活動項目を設定し、会の活性化に尽力したいと考えておりますので、皆さんのご協力宜しくお願い致します。
主な活動項目を下記とします。１．会員のコミュニケーション向上。２．事務所のレイアウト変更と部品整理。３．サーバーの立ち上げ。４．新規事業の開拓。５．パソコン講座のテキスト作成。